

令和8年度 産業労働局農林水産部森林土木優良工事等

【件 名】	御岳（大沢橋）治山施設機能保全工事	【事務所名】	東京都森林事務所	
【工事場所】	東京都青梅市御岳二丁目地内	【受注者名】	熊谷建設株式会社	
【工 期】	令和7年1月23日～令和8年2月26日	【主たる技術者名】	監理技術者 くまがい 熊谷 たくじ 拓治	
【工事概要】 本工事は、令和元年台風災により溪流沿いの既設土留工の基礎が洗掘され、背面土砂が一部流出したことから、不安定化した治山施設の機能を回復させ、斜面の安定を図ることを目的として実施した。施工にあたっては、斜面上の人家の保全、施工中の濁水発生防止、下流のマス釣場への影響抑制に配慮するとともに、構造物に影響のない一部の植生を残すことにより、治山施設の機能回復と周辺環境・景観の保全を両立した。				
【表彰理由】（※発注者側評価） 受注者は、マス釣場の保全を図るため、コンクリートによる施工が困難であった既設土留工の根固工について、安全性と環境面に配慮した工法を提案した。また、周辺関係者へ丁寧に説明を行い、人家協等に複数の施工ヤードを確保し、制約の多い現場条件のもとでも工事を円滑に実施した。				
 施工前  施工後				
【受注者の声】 ◇ 苦労した点 工事の途中で工種の追加及び設計工種の増工が生じたが、監督員と綿密に協議しながら工程を見直し、確実な工程管理を行うことで、工期内に完了することができた。 ◇ 特に工夫した点 既設土留工の根固工は、溪流の魚への影響が懸念されたため、生コンクリートより流出の可能性が低いモルタルを充填することを提案し、漁業関係者に理解を得て施工できた。 ◇ 現場で得られたやりがいや達成感 人家裏斜面のため、景観に配慮して構造物に影響のない樹木を残す、砂の飛散防止のため袋詰めにして搬入するなど、様々な制約がある中で、環境に配慮して完工したことにより、地域住民から感謝の言葉をいただいた。 ◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと 山の工事では、設計どおりに進まない場面や現場特有の課題に直面することがあります。しかし、関係者と協議しながら工夫を重ねることで課題を解決し、地域の安全や安心に貢献できることが、この仕事の大きなやりがいです。				
 固定工（厚ネット） （構造物に影響のない樹木を残して施工）  根固工（モルタル充填） （既設土留工洗堀対策）				